

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	学年
410021	XY2410021	2	後期	国際学部国際文化学科	×	×	×
授業科目	担当教員			国際学部国際文化学科英語集中コース	×	×	×
				情報文化学部情報文化学科	×	×	×
情報処理演習Ⅱ②	高木 義和			情報文化学部情報システム学科経営コース(26年度以降)	専門	選択必修	1年
				情報文化学部情報システム学科情報コース(26年度以降)	専門	選択必修	1年
				情報文化学部情報システム学科経営コース(25年度)	専門	選択必修	1年
				情報文化学部情報システム学科情報コース(25年度)	専門	選択必修	1年
				情報文化学部情報システム学科(24年度以前)	専門	選択必修	1年
授業目的							
Access, VB, SQL について学ぶ。これらの言語は Word, Excel と同様にコンピュータ上で稼働するアプリケーションソフトウェアであるが、これらの言語を使用すると、さらに新たなアプリケーションソフトやデータベースを容易に作り出すことができる。この演習ではコンピュータの利用者が使用できるレベルの高いアプリケーションソフトウェアの使い方を習得する。 情報を使いこなすための知識と技術、社会環境や人間活動に深くかかわる情報システムの機能と仕組みに関する基礎知識を習得することを目的とする。							
各回毎の授業内容							
第 1 回 【授】Access 1 Access の概要・オリエンテーション 【前・後】【事後学習】課題提出 1 (2 時間)				第 9 回 【授】VB によるプログラミング 4 グラフィックスの使い方 【前・後】教科書で実施内容を確認する。(2 時間)			
第 2 回 【授】Access 2 オブジェクトの作成 【前・後】【事後学習】課題提出 2 (2 時間)				第 10 回 【授】VB によるプログラミング 5 全体のまとめ、VB 理解度テスト 【前・後】【事前学習】1-4 回の講義ノートを見直しておくとともに、授業中に指示したテキストもしくは配付資料の該当箇所を熟読しておくこと。】(2 時間)			
第 3 回 【授】Access 3 リレーションシップとコンボボックス 【前・後】【事後学習】課題提出 3 (2 時間)				第 11 回 【授】SQL による RDB の操作 1 データ操作言語(DML)の利用 【前・後】【事後学習】課題提出 1 (2 時間)			
第 4 回 【授】Access 4 クロス分析とデータベースの正規化 【前・後】【事後学習】課題提出 4 (2 時間)				第 12 回 【授】SQL による RDB の操作 2 データの照会 SELECT 文によるデータの取り出し 【前・後】【事後学習】課題提出 2 (2 時間)			
第 5 回 【授】Access 5 全体のまとめ、Access 理解度テスト 【前・後】【事前学習】1-4 回の講義ノートを見直しておくとともに、授業中に指示したテキストもしくは配付資料の該当箇所を熟読しておくこと。】(2 時間)				第 13 回 【授】SQL による RDB の操作 3 データの照会 FROM 節、WHERE 節、GROUP BY 節、ORDER BY 節 【前・後】【事後学習】課題提出 3 (2 時間)			
第 6 回 【授】VB によるプログラミング 1 VB について、プログラミングの基礎 【前・後】【事前学習】教科書で実施内容を確認する。(2 時間)				第 14 回 【授】SQL による RDB の操作 4 表の作成 【前・後】【事後学習】課題提出 4 (2 時間)			
第 7 回 【授】VB によるプログラミング 2 計算の仕方 【前・後】【事前学習】教科書で実施内容を確認する。(2 時間)				第 15 回 【授】SQL による RDB の操作 5 全体のまとめ、SQL 理解度テスト 【前・後】【事前学習】1-4 回の講義ノートを見直しておくとともに、授業中に指示したテキストもしくは配付資料の該当箇所を熟読しておくこと。】(2 時間)			
第 8 回 【授】VB によるプログラミング 3 コントロールの使い方 【前・後】(2 時間) 教科書で実施内容を確認する。(2 時間)				第 16 回 【授】期末試験は実施しない			
成績評価方法							
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	強調・指導力	発表・表現	その他	評価割合(%)
定期試験							
小テスト・授業内レポート							40
宿題・授業外レポート							60
授業態度・授業への参加							
成果発表(口頭・実技)							
演習							
その他							
授業内に提出されたレポートの評価を演習点とする。40% 宿題で提出されたレポートの評価を課題点とする。60% 宿題で提出されたレポートのフィードバックの方法は個人情報を削除した見本となるレポートの紹介とレポート全体の講評により行う。							
教科書参考書							
教科書を配布する。							
受講に当たっての留意事項							
Access, VB, SQL の順序は確定ではありません。 前期・後期・年度によって順序は変動することがあるので演習開始時に予定表を配布します。 演習内容は 5 回連続しているが欠席しても時間中に補講などではできないので欠席しないこと。							
学習到達目標							
コンピュータの利用者が利用できるレベルの高いアプリケーションソフトウェアの使い方を習得する。 アプリケーションがどのように開発されるかを理解する。							
JABEE							
関連する学習・教育到達目標：C, D							

【授】：授業内容【前・後】：事前・事後学習